

【新卒企画運営】 全社ランチ会

～おともだち獲得大作戦2021～

ヤフー株式会社 コーポレートグループ PD統括本部
ビジネスパートナーPD本部 組織・人財開発部



1.取り組みの背景

コロナ禍で減った「つながり、雑談」

- ・ヤフーでは、2014年から、家でも、会社でも、どこからでも仕事ができる制度「どこでもオフィス」を導入
- ・月5回までという制限をかけていたが、2020年10月からはその制限を撤廃し「無制限リモートワーク」へ移行
- ・2020年度の新入社員はほぼすべての研修がオンラインで実施されたが、業務についてはおおむね問題なく進められた

一方、既存の社員からは

「ずっとリモートワークで、新入社員はホントに大丈夫？（心配…）」

「社員同士の雑談、減ったよね…」

「社内で新たな人間関係を構築する機会がない…」

といった声が…。

確かに

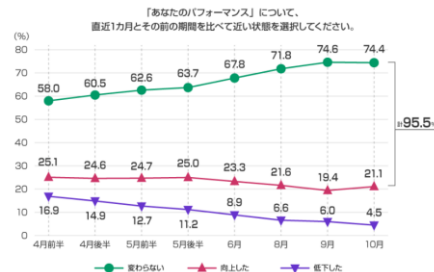
- ★ 普段の雑談、会話などで関係性が構築されている相手と仕事をするほうがパフォーマンスは上がる
- ★ 直接業務に関係ない人と交わした雑談からアイデアが広がったり、新しい人脈につながったりすることもある



つながり不足、雑談不足は大きな課題！

【参考資料】

多くの社員が
リモート環境下でも
「パフォーマンスを維持
もしくは向上している」
と回答



※ヤフー社員のコンディション確認
アンケートより（2020年10月時点）

2.取り組みの内容①

新入社員が自ら「オンラインランチ会」を企画&運営

<取り組み概要>

・2021年度新入社員のうち、ビジネス・デザイナー職の全30名が入社直後の4月23日にオンラインランチ会を主催（エンジニア職は研修の都合上、6月に別途開催）**参加対象者はヤフーで働く全社員（約7000名）**

・新卒社員が2名1グループとなってランチ会の「テーマ」を考え、社内イントラネット上で参加者（先輩社員）を募集。効果的に集客できるよう、各テーマの「キャッチコピー」「リードコピー」「ビジュアル」も各自で工夫 ※全社向けに周知した社内記事は視聴数が3525（全社員の約半数）という結果に。全社的にも注目されていたことが伺える

<帰属意識を高める工夫>

・参加者には**社員食堂のオリジナルカレーランチ**を無料で提供（前日中にクール便で参加者の自宅に配送）ヤフーの社員食堂が誇るインド人シェフがスパイスから調合したこだわりのバターチキンカレーのほか、デザート、公式キャラクターがデザインされたドリップコーヒーまでついてくるスペシャルセットが届けられた ※同じ時間に同じものを食べることによって参加者の間に**一体感が醸成**されるうえ、新入社員にとっては初めての、先輩社員にとっては久しぶりの社員食堂の味を楽しんでもらうことができた

・ランチセットに同封されるお品書きは、主催者である新入社員のデザイナーがデザインを担当。デザイン上のルールも自身で調べつつ、先輩デザイナーからアドバイスをもらいながら、素敵なお品書が完成



リモートワークであっても 「社内のつながり」を実体験できる



▲参加者の自宅に届いた特製カレーランチ



▲心を込めてカレーを作るシェフ

2.取り組みの内容②

業務に必要な「社内ツール」の使い方に慣れてもらう

<業務外の取り組みでまずは練習を>

・ Outlook（メール）、Zoom、社内用アンケートツール、社内イントラネットなど、実務では必須の「社内ツール」に慣れてもらうことが、本ランチ会の2つ目の目的

・ 「実務に入る前に、たくさん失敗して学んでほしい！」という事務局側の狙い通り、多くの失敗&トラブル発生！しかし、優しい先輩社員たちから「時間設定間違ってますよ」「分からないことがあれば何でも聞いてね」と都度フォローが入り、ヤフー社員の「いい人っぷり」を新入社員にアピールできる機会となった

・ ツールの使い方以外にも、「ランチ会前日にはリマインドのメールを送る」「事前に参加者の情報を調べておく」など、業務を円滑に進めるうえで必要だと思われるTipsも伝えていった

<事務局からの連絡&主催者・参加者間のやり取りもすべてオンライン>

・ 社内イントラネット上にマニュアルを用意。すべての情報を集約し、新入社員が必要なタイミングに必要な情報を得られるよう工夫。主催の新卒&事務局メンバーでSlackチャンネルを作成し、全てのやり取りを集約

・ OneDrive上に共有のエクセルファイル（進行管理表）を置き、参加者の申込状況などはリアルタイムで更新・相互に確認できる状態にした



ツールの使い方はもちろん、事前準備の大切さなど、今後の業務への学びも習得

全社ランチ会（おともだち獲得大作戦）とは？

「リモートワークで業務以外の関係性構築が難しい！」
「偶発的な出会いがない！」

といった課題を解決すべく、
新卒入社のみなさんが自ら社内の「おともだち」を獲得していただくためのランチ会です。

さまざまなサービスを担当する多様な職種のヤフー社員とぜひつながっていただき、みなさんのヤフー社員生活が充実することを願っています。

ポイント

ランチ会の運営にあたり、いくつかの社内ツールを利用します。
この取り組みでは、今後の日常業務でよく使うツールに慣れるトレーニングも兼ねていますので、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください！

▲マニュアルに記載した本企画の目的

ビジネス&デザイナーランチ会運営時に実際にあった出来事

- 1、公開用コンフルに記載したフォームくりえーたー募集用のフォームが回答用ページではなかった
- 2、URLを記憶せずにそのまま載せていた
- 3、フォームくりえーたーから届いたメールにそのまま返信→応募者本人には届かない！
- 4、ランチ会テーマのエッジが効きすぎて集客に苦戦
- 5、ランチのinvが12:05～23:50になっていた
- 6、ランチのinvが4/23ではなく送った日になっていた
- 7、公開用コンフルに使った画像が著作権NG
- 8、inv.（会議出席依頼）ではなく、通常のOutlookのメールで送っていた
- 9、コンフルを同時編集してて先相送り…。せっかく入力したのに（涙）
- 10、なんだか超絶長いinvが送られてた
- 11、返信メールを送った際、参加者の名前に誤植があった…
- 12、パスワードのついていないZoomURLを発行していた

▲新入社員間で引き継がれた「事件簿」

3.効果・成果

新入社員30名+先輩社員75名+役員9名=全114名が参加の大イベントに

<ランチ会当日の様子>

・15テーマ、全参加者105名のランチ会をオンラインで開催（ZoomMTGを使用）
 ・コロナ禍でのリモート環境の中で入社した新入社員の状況をとてに気にかけていた経営陣が、サプライズで各テーマを訪問。
 役員のみなさんがあまりにも自然に会話に加わっていたので、最後まで役員だと気づけなかった新社員も。結果的にヤ
 フーのフランクな社風を体感してもらう機会にもなった

<事後アンケート結果>

・ランチ会を主催した新入社員30人中21名（70%）が「業務以外でのおともだちができた」と回答。28名（93%）が
 「社内ツールに慣れることができた」と回答

・新入社員のコメント（一部抜粋）

●普段では全く関われない方と話す機会ができて、共通の趣味の話もできたのでとても楽しかった ●今後業務で頼れる先
 輩ができた ●友達というのもおこがましいですが、参加者総勢7名が繋がりを持てたのは非常に良い経験でした ●自分
 の配属先とは関係のない先輩方の業務のお話を伺えたのがよかった ●当日はあらゆる配属先の社員の方々に来ていただい
 て、このランチ会がなければきっと無かった出会いだと思うので、お話しできて嬉しかった ●様々なTipsを通じて業務に
 必要なマナーやイベント運営の仕方を学べた

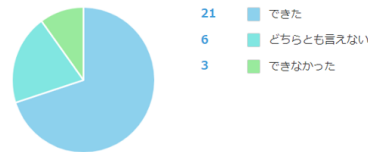
・先輩社員のコメント（一部抜粋）

●特定のテーマに合わせて集まるランチ会はとても楽しかったです！ ●なかなかオンラインですとチーム外の方ともお話
 する機会はないので、このような機会があることは私自身にも大変有難いチャンスでした ●コロナ禍だとこういうイベン
 トを仕掛けでしなないと、社内でおともだちを作るのが大変な環境になっている点は、既存社員として社内のコミュニケー
 ション環境をもっと改善しないといけないなと思いました

新入社員はもちろん、先輩社員も
 「業務以外でのおともだち」を獲得できた

振り返りアンケート結果

Q1.本ランチ会の目的である「業務以外のおともだち」は獲得できましたか？



▲新卒の70%が「おともだちができた」

「ランチ会を開催して終わり」とならな
 いよう、参加者へのアンケートを行っ
 たうえで

●学んだこと&気づいたこと

●今後の業務にどう活かすか

について、グループごとに振り返りを実
 施した

※振り返りコメントより（一部抜粋）

「接点を探し、自ら先輩社員とお話をす
 る機会を作っていきたい」「自分たちも
 後輩を常に気遣える先輩社員になりた
 い」「今後の業務においても、どうい
 った流れにするのかや質問事項等を事前
 に準備して、研修や営業に臨む」

4.今後の展望

6月には参加者400名超の第2弾新卒主催オンラインランチ会を実施！

<今後の目標>

- ・6月15日には、新卒エンジニア職177名が全81テーマで243名もの先輩社員を招待するランチ会を実施予定（参加者数は4月実施のランチ会の2倍以上）。社内での業務外におけるより大きなつながりを創出できる予定
- ・オンラインでの環境化では、自ら能動的に動いて人間関係をつくることの大切さを全社員に知ってもらい、今回のやり方をひとつのヒントとして、今後は各自のやり方でいろんなことを実行してもらえるような施策を進めていく

<新たな施策>

- ・社員食堂のメニューを囲んでのオンラインランチ会は手軽かつ汎用性が高いため、今後グループ会社間での関係性構築のきっかけ作りとしても検討中
- ・ランチ会が起点となり「自ら動くことの重要性」に気づいた2020年度新入社員が中心となり、全社員を対象とした「1on1ミーティングのイベント」（1対1のオンライン面談）を企画するなど、自発的な企画が生まれてきている



コロナ禍だからこそ、自ら積極的に動くことが大事！引き続き社員の自律を促すことで社員のwell-beingを向上！

社外向け記事でも紹介



サードでは2020年10月より、経営と専門による幅広い新しい働き方に挑戦するため、リモートワークの推進を図るとともにフレックスタイム制の導入に力を入れています。そして同時に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの従業員が自宅よりリモートワークを実施していますが、その中には、入社後、研修、その後にはさまざまな配属先で勤務する中で、ほぼすべてがリモート勤務という新入社員もいます。

業務が本職に専念できず十分なコミュニケーションがとれないという状況が、新入社員に「会社になじめない」という課題を生じ、人事部門が迅速に「おともだち獲得ランチ会」について関心をもちました。



経営企画部（人事部）の山田 美穂氏（山田 美穂）
2020年10月、山田氏より「おともだち獲得ランチ会」の企画が実現し、新入社員に「おともだち獲得ランチ会」が実施されました。

▲直接ランチ会に参加しなかった社員にも本企画の意図を知ってもらうことができた